



希望の星だより

令和8年8月号
発行 希望の星保育園
園長 兼城 佐代子
編集 仲里 町田
兼城 知花
☎ 972-3800



夏本番を迎え、青空とまぶしい日差し、子ども達の笑顔が一段と輝いています。空を見上げて流れる入道雲の不思議さや昆虫との出会いを楽しんだり、畑では育ってきたきゅうりやすいか、朝顔などの観察をしたりと、様々な自然に触れ合いながら、毎日、目をキラキラさせて過ごしています。また、水遊びや夏ならではの遊びも思い切り楽しみながら自然に触れている子ども達です。発見や驚きを友達や先生と分かち合う姿に、探求心やコミュニケーション能力が育まれていることでしょう！

そして今月は、そう組さんの体験学習を予定しています。「何をするんだろう」と子ども達の期待も日に日に高まっています！子ども達一人ひとりのたくさんの「早く、やってみたい！」を引き出せるよう、楽しみに計画を進めています。どんな、素敵な思い出と成長に出会えるか今からワクワクしますね。

これから暑さも本格化していきますので、ご家庭でも十分な休息や水分補給を心がけていただき、暑さに負けず元気に夏を乗り切りましょう！



8月の行事予定



日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
						1
2	3 リズム	4 スイカ贈呈式 (5才児のみ)	5	6	7 スイミング	8
9	10 避難訓練 (震災)	11 山の日	12	13 歯科検診	14 スイミング	15 体験学習 (5才児のみ)
16	17 身体測定	18 リズム	19 5才児のみ 小学校探検 (給食体験)	20 お誕生会 (お弁当)	21 スイミング	22
23 30	24 31	25 ウンケー	26	27 ウーケイ	28	29



楽しかったね！盆踊り会

クラスだより



(0才児) <目標>

☆十分な休息をとりながら、一人ひとり快適なリズムで過ごす。
☆水や砂などに触れ、夏ならではの遊びを保育者と一緒に楽しむ。

先月は、産まれて初めての行事、盆踊り会に参加して、舞台の上で親子で踊ったり、縁日でゲームをしたりと親子で楽しんでいる姿が見れて、私達保育士も、子ども達や保護者の皆様と楽しい時間過ごせて嬉しかったです。子ども達は、誰一人泣くこともなく、一人ひとりの成長も見られたかと思えます。これから、運動会やお遊戯会と色々な行事がありますが、子ども達一人ひとりの成長が見れるのが楽しみです。

今、子ども達は、ハイハイができるようになったり、つかまり立ちができるようになったり、伝え歩きがスムーズになったり、少しずつ歩けるようになったりと、日々成長する子ども達の姿にびっくり！と微笑ましい姿に癒されている先生達です(▽)/

さて、毎日暑い日が続いていますが、今月はベランダで水遊びや園庭遊びでの砂遊びをして、夏を満喫したいと思います！もし、水着がある子がいれば、持たせて下さいね。



(2才児) <目標>

☆様々な水遊びを通して、水の感触を楽しむ。

先月後半から、水遊び、プール遊びが始まりました。

新しく準備してもらった水着、プールバックも嬉しそうです。今月は、暑い夏を楽しく乗り切る為に、色水遊びや洗濯ごっこなど、活動を工夫したり環境を整えていきたいです。水遊びでは、楽しくていつまでも入っていたい子ども達ですが、休息・水分補給には十分きをつけていきたいと思います。

生活面では、トイレトレーニングで綿パンツで過ごす子が多くなり、午睡中も綿パンツで寝ることにチャレンジしていきますね。

もし、おねしょをしてしまったら、お洗濯を宜しくお願いします。



(4才児) <目標>

☆夏の植物や生き物に興味関心を持つ

まいにち暑いですね。熱中症アラートを確認しながら戸外に出るようにしています。

暑さなんてへっちゃらな子ども達は、毎日「外で水遊びしたいなあ」と目をキラキラ。体調管理に気をつけながら、楽しませていきたいと思います。

また、先月から遊びの中にワークを取り入れています。

「出来た！」と言う喜びや自信につながる事を大切に、一人ひとりのペースに合わせて進めています。

無理に取り組ませることはせず「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、遊びの延長として、自然と学びに触れられる時間を大切にしていきたいと思います。



(1才児) <目標>

☆トイレに慣れ、トレーニングに挑戦中！

先月からトイレトレーニングに挑戦！歩行がしっかり安定し、保育者の言葉にもよく耳を傾けるようになってきたりす組さんの子ども達です。身の回りのことにも興味深々な姿が見られるようになってきました。

トイレトレーニングはすぐに紙パンツを外すことが目的ではなく、まずは「トイレという場所に慣れること」を大切に、無理のないペースで進めていきます。便座にちょこんと座ってみたり、中にはタイミングが合い便座でおしっこが出た時は、「出たね～！スッキリして気持ちいいね」とみんなで喜びを分かち合っています。子ども達の「できた！」という満足そうな笑顔ががとても輝いていますよ。

また、これからの夏、家庭と園とで連携を図りながら体調管理に気をつけて行きましょうね。



(3才児) <目標>

☆暑さに留意しながら、健康で快適に過ごす。

☆自分の体調や気持ちを保育者に伝え、安心して過ごす。

毎日暑い日が続いていますが、子ども達は元気いっぱいに過ごしています。夏のならではの遊びを通して「冷たい！」「気持ちいい！」と夏を全身で感じながら楽しんでいます！

暑さによる疲れが出やすい時期でもある為、水分補給や休息を取り入れながら、無理なく過ごしていきたいと思います。また、一人ひとりの体調や様子に気を配りながら、「やりたい！」「嫌だった」「手伝って」など自分の気持ちを保育者に、言葉で伝えられるよう丁寧に受け止めて関わっていききたいと思います。安心して自分の思いを表現できる環境を大切にし、子ども達の気持ちに寄り添っていききたいと思います。また、自分の持ち物にも関心がもてるように意識づけをしていきたいと思います。暑さも続くので、ご家庭でも十分な睡眠と朝食を心がけ元気に登園できるようお願いします。



(5才児) <目標>

☆友達とのつながりを深め、工夫したり、挑戦したりすることの楽しさを感じる。

園生活を心地よく過ごす態度が身についてきて、一人ひとりが活動で意見を話す機会が増えてきているそう組です。毎日の朝の会では、ひらがなで書いた一日の流れを読み合うことで少しずつひらがなを意識して見ることに慣れていっています。

戸外では、育てている朝顔の花が咲き、「あかいはな、こっち むらさき」と嬉しそうな表情です。種から芽が出る事に興味関心がでて、食事に出る食べ物に種があると「先生、これ植えてみたい」と話しています。先日もデザートのスイカの種を植えると見事芽が出ました(*^*)v日々、水かけを楽しんでいるそう組の子ども達です。

今月は、楽しみにしている体験学習を予定しています。保育士や友達とのつながりを大切にしながら、実体験を通しての発見を楽しんでいけたらなあと考えています。詳細は、クラスのお便りにて連絡しますね。



ほけんだより

保健だより 第2号
希望の星保育園
令和8年8月1日
園長 兼城佐代子
看護師 安村幸美

連日、暑い日が続き、体調のコントロールが難しくなっています。
食事、睡眠をしっかりととり、遊びに行った際にも、水分、休息をとりながら
元気に楽しく夏を楽しんでいきましょう。

熱中症はどうして起こる？

体には熱を逃がす働きがある

運動すると体がポカポカして汗が出てきます。皮膚の表面から熱を逃がしたり、汗を蒸発させて体温を下げたりして、体内の温度が上がりすぎるのを防いでいるのです。



熱中症を疑ったら

涼しいところへ移動し、衣服をゆるめて風通しをよくし、頭を低くした状態で寝かせます。
塩分水分を含んだイオン飲料をこまめに少しずつ与えましょう。

熱中症の危険があるとき

気温が高い
皮膚から熱が放出されにくくなる
湿度が高い
汗が蒸発しにくくなる
水分不足
体内の循環が悪くなって熱を放出しにくくなる。
急に暑くなった
体が暑さに慣れていないため熱の放出がうまくいかない

① 気温や注意報をよく見る

気温や湿度が高いときや、暑さ指数が「警戒」「厳重警戒」「危険」の時は、屋外での活動を控えましょう。

③ 暑さに体を慣らそう

暑いからといって外に出ないと、体が暑さに慣れずかえって熱中症のリスクが上がります。
適度に外で遊んで、暑さに慣らしておきましょう。

小さなこどもは「のどがかわいた」といえません。出かける前、遊ぶ前に水分を取らせ、その後もこまめに少しずつ飲ませましょう。



外で活動している時、体調が悪くなった時はもちろん、元気で顔が真っ赤で汗をたくさんかいているのは、体内の温度が上がっているサイン。
すぐに涼しい場所で休ませ水分をとらせませす。



夏の肌トラブル

蚊にさされた時

大人が蚊に刺されるとすぐにはれ、じきに治まります。ところが、小さな子どもは、刺されてしばらくたってから、びっくりするほど大きく腫れて水ぶくれができることもあります。かき壊さないよう早めに手当しましょう。

ケアは

① 刺されたところを水で洗い流します。



② かゆみ止めを塗ったり、ぬらしたタオルやハンカチで包んだ保冷剤などを当てたりして、かゆみをやわらげます。



とびひができた時

皮膚をかきむしって傷ができたところに細菌が感染して、ジクジクした湿疹（とびひ）ができます。とびひは感染力が強いので、ひどくかゆいため、かいた手で体のほかの部分に触ると、そこにも湿疹が広がります。

ケアは

シャワーを浴び、皮膚の清潔を保ちます。かき壊して広がる、周りに感染するのを防ぐためにガーゼなどで保護することがあります。

治療は

抗菌薬の塗り薬を使います。よくならない時は抗菌薬の内服をします。

予防接種を受けましょう

予防接種は、自分が病気にかかるのを防ぐだけでなく人に感染させてしまうことで園や社会全体にその病気がまん延するのを防ぎます。

また、病気にかかったとしても重症化を防げる場合もあります。



★ おしらせ ★

MR予防接種の接種の機会を逃した方を対象に無料で予防接種を受けられる制度があります。詳しくは、うるま市役所健康支援課（098-979-0950）までお問合せ下さい。

